

## 2011年度 公益財団法人淡海文化振興財団事業計画

### 基本方針

淡海文化振興財団は、1997年の設立以来「新しい淡海文化の創造」で提唱された自然と共生し、伝統的な生活文化の中で取り組む未来に価値ある地域づくりを進めるために、県民一人ひとりの主体的な社会的活動を支援してきたところであるが、2011年4月からは、公益認定を受けることにより、これまで以上に公益性の高い事業を行う公益財団法人として新たなスタートを切ることになる。

地域のことは自分たちで考え創りあげていくという機運の高まりのなか、市民の主体的な活動をより堅実で広がりのあるものにしていくための支援体制の充実が求められており、また、社会の成熟化、高齢化が進む中において「民間が担う公共」の役割が大きくなっており、当財団の役割はますます重要になってくると思われる。

こうしたことから、2011年度事業は、公益財団法人への移行のメリットを最大限活かし、自主財源の確保を旨としつつ、おうみNPO活動基金の理念を継承し、市民や企業など幅広い寄付者のニーズに沿った基金運営と活用が出来る「未来ファンドおうみ」の展開を軸に取り組みとともに、各種の事業について有機的なつながりをつくり事業効果の可視化に努める。また、地域活性化につながる事業について横連携ネットワーク（県男女共同参画センター、県社会福祉協議会、県国際協会、県産業支援プラザ等）を構築し、「市民事業」の動きを促進していく。

さらに、国・県の「新しい公共」事業に即応した事業展開を図り、市民活動団体・NPOの自立に向けて、運営や組織基盤強化のサポートや専門家と連携した相談業務を行うとともに、県内各地において県民が主体的に関わる地域づくりをさらに押し進めるため、フォーラム等を開催し地域交流の促進を図る。

おうみ未来塾は11期生2年目であることからグループ活動の運営を支援していく。

### 事業計画

#### 1. 情報提供事業

##### (1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

・話題性とメッセージ性を重視した特集記事と活動団体の紹介記事を軸に、センター事業などの情報を提供するとともに市民活動を応援する企業等の周知を目的に、企業広告の掲載を進める。

A4判8頁 年4回発行 部数 1万部/回

配布先 活動団体、市民、市町、公民館・図書館・学校等各公共機関、

##### (2) 情報誌「未来ファンドおうみニュースレター」の発行

・寄付文化の醸成とともに「未来ファンドおうみ」の仕組み制度等のPRさらには基金の助成先の取り組みを紹介するニュースレターを新たに発行する。

A4判8頁 年4回発行 部数 1万部/回

配布先 企業、活動団体、市民、市町、公民館・図書館・学校等各公共機関、

### (3) 活動団体データベースの整備

・活動団体データベースの整備を行い、センターでの情報提供に活用する

### (4) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

・地域づくり情報、人情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集し、提供する。

### (5) インターネットの活用

・公益法人化を契機として Web のリニューアルを行うとともに、センター情報などをホームページを通じて発信する。

また、地域メディア関係者のネットワークを図り、市民と地域メディアの双方向的な動きを創っていく。

### (6) メールマガジン「おうみネット e~マガジン」の配信

・無料メーリングリストを利用して、活動団体等に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供のサービスを行う。

## 2 市民活動促進基盤強化事業

### (1) 組織基盤強化事業

#### 相談業務

・市民活動に関して、初歩的な相談から幅広い、多様な相談にきめこまやかに対応する。また、電話・FAX・メールによる相談も随時受け付ける。

#### NPOサポート業務

・税理士や弁護士等の専門家ネットワークを形成し、市民活動団体の運営支援を強化していく。また、基金採択団体の運営等に関して、職員が直接団体を訪問してサポートし、必要な場合は適切な専門家を団体に派遣し、自立のためのサポートを行う。

### (2) 市民活動支援事業

#### 協働サロンの開催

・地域人財が出会う場として、テーマを設定し協働サロンを県内3~4カ所開催する。  
・市民活動団体・NPOと地域の多様な主体との連携強化を図るとともに市民事業の創出支援や企業とNPOとの連携促進に取り組む。

#### 市民活動フォーラムの開催

・市民社会を取り巻く環境の変化と課題を見据えて、滋賀の市民活動がより活性化し、県民が主体的に関わる地域づくりをテーマとしたフォーラムを開催し、多様な主体の交流を促進する。

#### 市民活動支援連携事業

・県域の市民活動団体との連携強化を進めるとともに、淡海ネットワークセンターと地域支援センターのスタッフ同士が互いに研修し、またこれら支援センター間の情報交換を行うことによって相互の機能強化を進める。

メーリングリストによる情報交換

意見交換・研修会 4回

### 市民活動ふらっとルームの運営

- ・人と情報の交流促進を図る市民活動ふらっとルームを運営する。

## 3. 人材育成事業

- ・おうみ未来塾 11 期生のグループ活動展開に伴い、卒業生との連携促進を図る。

### (1) おうみ未来塾の運営

- ・地域づくりや環境保全活動などの新しい地域課題に取り組む人材（地域プロデューサー）を養成する「おうみ未来塾」（11 期生、2 年目）を運営するとともに卒業生との連携促進を図る。

## 4. 未来ファンドおうみ

- ・「未来ファンドおうみ」の目的、仕組等について積極的広報を行い寄付者の発掘に努める。
- ・寄付文化の醸成をめざし、提案型の企画を創り、企業や行政へアプローチしていく。
- ・採択団体へのヒヤリング、交流会、中間・成果発表会の実施。
- ・「未来ファンドおうみ」のニュースレター発行（再掲）

### (1) 助成金

3,000 千円

市民活動助成 2,000 千円

びわこ市民活動助成 1,000 千円

### (2) 事務費

- ・運営委員会、成果発表会、審査、広報等に係る事務費